

2006.10
第7号

なびい



和光市生涯学習マスコット

Contents

- 新倉ふるさと民家園に行ってみよう 2~3
- なびいレポート 4~6
- やってみよう！行ってみよう！ 7
- 総合体育館情報 8

お知らせ

スポーツ振興担当・青少年担当は、10月1日から「スポーツ青少年課」になり、窓口の場所が、市役所6階東側に移動しました。



8月27日
ジュニアリーダー研修会
新倉ふるさと民家園で
青少年担当



行ってみよう!

新倉ふるさと民家園

平成 18 年 6 月 17 日に開園し、17、18 日の 2 日間で来園者は約 1500 名にのぼります。その後も 1 日平均 70 名を超える方に訪れていただき、夏休み中はたくさん子どもたちが民家園で生き生きと遊ぶ姿や、大人の方がくつろがれる姿が見られました。

そんな皆さん、古民家の中に入るとまずその涼しさに驚かれます。こういったところにも昔の人の知恵が感じられます。季節に合わせ、天気

合わせ、日々いろいろな様子を見せてくれる古民家。何度もお越しになる方は、そういうところに魅力を感じられているのかもしれませんが。

これまで、うどん作り教室や、七夕飾り、盆踊り教室、流しそうめん、夜のこわいお話、子ども教室など毎月行事が行われ、どれも大変ご好評をいただいています。今後も様々な季節の行事等を行う予定ですので皆様、是非、ご参加ください。





新倉ふるさと民家園

☎ 467-7575

- 所在地
下新倉 2-33
- 開館時間
9時～17時
※10月～3月までは
9時～16時30分
- 休園日
毎週水曜日
第4木曜日
祝日の翌日
年末年始(12/28～1/4)
- 入園料
無料



インタビュー

なさけないサポーター

古民家サポーター 本間 悠子

忘れもしない、6月17日のTVでも放映された、華々しいオープニング。あれからはや2か月。古民家に対する“思い”は人一倍あるのですが、転んで骨折。サポーターとしての活動が出来ない状態にあります。友人、知人が古民家に行ってきたよ。今から、行くんだけど、道を教えてとか、自宅に居ても入ってくる情報に情けない思いをしています。



和光市に縁のない遠方の友人が、古民家に一人で行ったけどサポーターの方に親切にしてください、楽しい、有意義な時間を過ごせたとか。また、お孫さんを連れて行き、ベーゴマ、メンコとかで遊ばせてもらい、子どもが「また、来たい」と言った事など、「良かったよ」とか聞くと、私も嬉しくなってしまう。ご活躍を耳にするにつけ、私も参加している気分です。

先が長いので、少しずつのお手伝いを出来れば、と思っています。こんな状態の私でも、サポーターです。今、ためらっておられる方。是非、サポーターの一員となり、ご一緒に楽しみませんか。

新倉ふるさと民家園運営委員として

新倉ふるさと民家園運営委員 副島 元子

生涯学習課から委託されたボランティア団体「新倉ふるさと民家園市民運営会議」が昨年12月に発足、委員7名は開園までの160日間に20回の検討会議を持って準備にあたりました。



文化財である古民家を、気軽に立寄り憩うことのできる“お休み処”となるように、また市民活動、伝統文化・技術の伝達の場とするために、委員を含むサポーターが中心となって計画運営していくものです。

6月17日の開園以来4か月で、サポーター数は60名を超え、約8000人を超える来園者をお迎えしました。加えて「地域子ども教室」の会場にも指定されて、主に新倉・北原小学校区の児童を対象に昔遊びや伝統行事の伝達体験など異世代交流の場にもなっています。

古民家も実りの秋を迎え、子どもたちが栗拾いをする姿が見られます。庭に目を向けると重たい実を下げる稲穂、色づく葉、耳をすますと虫の声、こんな秋を感じられる300年来の芽萱ぎの家においてになりませんか？



4/10 かがやき学級

南公民館



参加者も真剣

「かがやき学級」は高齢者を対象とした講座です。昨年までは公民館が事業を計画し、実施してきましたが、今年度からは参加者で事業計画を立てて実施しています。

興味のある方は南公民館までご連絡ください。

6/2～7/7

ゆかた着付教室

中央公民館



お互いの帯を締め総復習

「ゆかたを一人で着られるようになる」を目標に、教室を開催しました。着付・帯の結び方・マナーなど多岐にわたる内容を全6回で学ぶのは大変でしたが、最終日には外出できる程に上達しました。

6/27～ パソコン講座

南公民館



熱心に取り組んでいます

昨年に続きワード、エクセル、趣味講座を2回実施し、新たにパソコン相談コーナーを開催しました。パソコンを勉強したいと意欲満々の参加者が公民館に訪れて、皆でパソコンについて学習しました。

6/2～8/4 英会話教室

坂下公民館



英語で自己紹介

「日常英会話を楽しくマスター」をキャッチフレーズに定員12名を募った結果、36名の応募があり、反響の大きさに驚きました。計10回コースで、終始和やかな雰囲気の中にも積極的かつ熱心に取り組んでいました。今後、英会話教室開催の予定や開催回数を増やしてほしいとの声がありました。これから、サークルが発足する予定です。

6/17・7/19・9/16

市民図書館講座

図書館



熱心に耳を傾ける受講者たち

市民の皆さんのための文学講座です。今年度は跡見学園女子大学教授の山崎一穎先生を講師に迎え『戦後文学を読む～死と生、そして愛～』というテーマで3回実施しました。熱意溢れる素晴らしい講義に、受講者は熱心に興味深く学んでいました。どなたでもご参加できますので、来年度も、是非、皆さんお誘い合わせの上、お越しください。

7/9 親子体験教室

青少年担当



何ができるかな？

栃木県の千本松牧場に行ってきました。アイスクリームやバター作りに挑戦しました。また、熱気球に乗ったり、動物と触れ合ったりたり乗馬などをして親子で一日を楽しみました。



7/15 ウォーキング講習会 スポーツ振興担当



◀やる気満々で参加する受講者

あの「デュークズウォーク」を体験！広沢小学校の体育館を会場に、親子を対象としたウォーキング講座を開催しました。当日は、63名の親子が楽しく、真剣に、正しい姿勢で歩きました。

7/20～28 夏休み子どもチャレンジ 中央公民館



◀子どもと一緒にブローチをつく

毎年「物づくり体験！」をテーマに開催しています。今年は、きんちゃく袋(手芸)・キーホルダー(皮工芸)・ミサンガ・ストラップ・とうもろこしブローチ(手工芸)を作りました。

7/28・8/1 中学生の職場体験研修 図書館



◀カウンターで本の返却と貸出

第二中学校の2年生6名が一日職場体験研修を行いました。図書館のエプロンを身につけた中学生たちは、夏休みで賑わうカウンターでの業務や、返された本を棚に戻す配架作業に携わり、忙しいけれども充実した一日を過ごしました。

8/5 子どもねんど工作教室 坂下公民館



◀私のかわいくできたよ

坂下公民館クラブ「ほのほのねんど」の皆さんの協力で開催されたねんど教室。子どもたちは、色ねんどを使ったミニチュア野菜作りにチャレンジしました。ねんどをこねる作業から始まり、混ぜて違う色を作り、なすやニンジンも本物のような色合いです。

8/19 夏季スポーツ大会 青少年担当



◀キックベース

広沢小学校と第二中学校の校庭や体育館で、キックベース・バレーボール・ドッジボールの三種目が行われ、約400名の子どもたちが参加しました。

9/10 レクリエーション大会 スポーツ振興担当



◀ソフトバレーに参加したママさんたち

広沢小学校校庭・体育館でグラウンドゴルフとソフトバレーボール大会を開催しました。参加者たちは楽しそうに技を競い合いました。



9/24・10/1 スポーツチャンバラ教室 スポーツ振興担当



◀「エイヤー」気合で勝負!

今は懐かしのチャンバラがスポーツになって復活。大人も子どもも、自分でお気に入りの剣を作って参加しました。さあ、チャンバラに挑戦だ!

おとどけ講座

生涯学習担当



◀筋肉トレーニングの講座風景

一部のメニューを新たに「わこう市政学習おとどけ講座」を実施しています。8月までに8件の講座申込みがありました。今年度からは、生涯学習指導者の皆さんが講師となって出前をする、生涯学習ちょこっと体験「お試し出前講座」も加わりました。どうぞご利用ください。

生涯学習指導者インタビュー



地域子ども教室のマジック指導者をして

恩田 邦彦 (本町在住)

平成17年6月に20名のメンバーにて始めました。最初の月に8種類のマジックが1箱にセットになったものをそのまま配布し、毎月1種類ずつ教えるつもりだったところ、教えていない分も幾つか自分達でやってしまいびっくりしました。



最後の2か月は子ども教室のコーディネーターに手伝っていただきながら、手作りのマジックを指導し無事終了しました。子どもたちが皆熱心で、しかも覚えが早いことに感心しました。

12月には本町保育園の園児の前でそれまでに覚えたマジックの実演を行い、盛んな拍手で歓迎していただきました。皆落ち着いて堂々と演じ、私の子どもの時と違って今の子どもたちは、人前で演じたことに物おじしないことを知り、これにも感心いたしました。大きくなった時のいい思い出になればいいなと思いました。

生涯学習文学講座講師として

橋詰 静子 (本町在住)

「あら、こんにちは」おつかいの帰りみちさんと行き交う。「こんにちは、今度は『隅田川』ですね」「ええ、楽しみにしている。」お住まいも知らない地元の方とこんな会話の出来るのも幸せの一つではないかと思う。



思えば25年前、新宿区の婦人大学講座にはじめて出講してから、この方面での活動が大学での仕事とともに車の車輪のように、わたしの生活になじんで来た。学生たちとの時間もなかなか得たいが、それにもまして中高年の方々との交流は文学を語るにふさわしいと感ずる。人生を半ば以上生き抜いた生活の知恵が、作品理解を深め、作者の考えの特徴を見抜き、ご自身の思いを照らし出す。学生たちは、こんな事もあるのかと戸惑いながら読み、中高年者はあるあるとにんまりし、もしくは作為の目立ち過ぎと批評しながら読み進める。

私の役目は、作品の一字一句を丁寧に読み取り、過不足なく紹介し、その上で作品の構造を分析し、いまを合わせ鏡に感想を述べるに留まるが、随時挙手しての質疑を入れながら進めるので、参加者のなまの声を聞くこともできる。それが無上の喜びだ。



やってみよう！行ってみよう！

県民の日記念 親子ペタンク大会

青少年担当

- とき／11月12日(日)
- ところ／第二中学校
- 内容／1チーム(3人1チーム)リーグ戦
- 対象／育てる会の会員



ウォークラリー大会

スポーツ振興担当

市内を楽しく歩いて、楽しい発見をしよう！

- とき／11月26日(日)
- ところ／南・白子方面
- 対象／小学生以上(3年生以下は保護者同伴)

青少年健全育成作文・

ポスター・標語表彰式&発表会

青少年担当

- とき／12月9日(土)
- ところ／サンアゼリア小ホール

平成18年度人権講演会

生涯学習担当

- とき／平成19年1月20日(土)
- ところ／サンアゼリア小ホール
- 講師／池田香代子
(『世界がもし100人の村だったら』訳者)
- 対象／市内在住・在勤・在学者

ロードレースフェスティバル

スポーツ振興担当

- とき／平成19年3月11日(日)
- ところ／市役所周辺道路
樹林公園内
- 対象／小学生以上



走る楽しさを
体験しよう



市民スキー教室

主催：和光スキー連盟

- とき／平成19年2月10日(土)
～12日(月)(2泊3日)

ジュニアスキー

主催：体育協会

- とき／平成19年3月24日(土)
～26日(月)(2泊3日)
- ところ／菅平高原スキー場
- 対象／小学生以上



技術向上と
仲間づくりに

図書館まつり

図書館

日頃の図書館のご利用に感謝の気持ちを込めて、ふだんの図書館とは一味違う様々な催しを行います。

- とき／11月3日(金)
- ところ／図書館

和光市図書館ホームページを新設

<http://www.city.wako.saitama.jp/library/>

和光市役所のサイトの一部だった図書館のホームページが、この4月に和光市図書館のトップページとして独立しました。これまでと同様、「蔵書検索」「インターネット予約」等が可能です。また、和光市図書館の毎月の事業をお知らせする「図書館だより」、「図書館レポート」など、楽しいコーナーが充実しています。ぜひアクセスしてください。

人権啓発ビデオを貸出

生涯学習担当

人権について考えてみませんか？ビデオをお貸しします。お気軽に御活用ください。
詳しくは、生涯学習担当まで。

| | 題名 | 内容 | 時間 | 備考 |
|---|---------|-------------|-----|----|
| 1 | 青空のように | 同和問題 | 47分 | |
| 2 | 友情ヘラン | 同和問題 | 45分 | |
| 3 | 明日にスイング | 同和問題 | 50分 | |
| 4 | 風はみどりに | 同和問題 | 50分 | |
| 5 | 風のひびき | 同和問題 | 54分 | * |
| 6 | 心の交響楽 | こども・老人 | 43分 | ☑☑ |
| 7 | 陽だまりの家 | DV・老人 | 42分 | ☑☑ |
| 8 | めばえの朝 | 同和問題・男女共同参画 | 41分 | ☑☑ |
| 9 | 旅立ちの日に | 障害者 | 40分 | ☑☑ |

☑アニメーション ☑字幕付き *説明書なし

第11回中央公民館まつり

中央公民館

中央公民館まつりを3日間にわたり開催します。各サークルで盛り上げていきますので、ぜひ見に来てください。

- とき
11月3日(金)～5日(日)

- 内容
- ▼展示部門／絵画・書道・写真・手工芸・陶芸・学習成果の発表ほか
- ▼芸能部門
三味線・詩吟・カラオケ・踊り・マジックほか
- ▼音楽部門／合唱・オペラ・オーケストラ
- ▼スポーツ・レク部門
レクダンス・健康体操・太極拳・社交ダンス
- ▼模擬店・実演部門
囲碁・模擬店・野菜直売





和光市総合体育館の建設について

「みどり豊かな人間都市、和光」
災害対策機能を備えた総合体育館の建設



周辺環境にとけ込む体育館



計画のテーマは、“「和」が生み出す「緑の丘の体育館・緑のランドマーク」”です。緑を大切にする和光市の中にあって、樹林公園内への建設にも最大限に配慮し、体育館自体が緑をまとった丘のような形態を示す計画としています。

既存の樹木を極力残しつつ、緩やかにカーブを描く屋上面への緑化や、芝生広場に面した壁面への緑化などによって、体育館が緑のランドマークとなることを目指しました。

公園化されたような体育館をつくることで、体育館利用者に加えて公園利用者も気軽に利用できる施設づくりを行っています。

ユニバーサルな視点を重視

市と市民とのワークショップや、障害者団体等へのヒアリングなどを通して、現実的な観点からすべての人にとって使いやすい施設とすることを心掛けました。

各階にバリエーションを持たせたトイレの整備、ストレッチャー対応のエレベーターの設置、床面に段差のない計画など、細部に至るまで様々な意見を反映した改善策を施しています。

工事進捗状況



災害対策機能を考慮

総合体育館は、災害時には市民の避難場所となります。予め避難時を想定した各種計画を行うことによって、体育館が市民の安全と安心を満足する施設となることを目指しています。



アリーナは避難者の主たる受入場所として、観覧席は避難者の就寝や休憩のためのスペースとして、駐車場は緊急資材の受入とストックのヤードとしての活用を想定しています。また、各階に分散して備蓄倉庫を配置し、空間の用途に応じた備蓄品の収納を計画しています。

他には、24時間対応の非常用発電機の設置、仮設トイレとシャワーの設置を可能とするスペースとマンホールおよび緊急排水槽の設置、さらに地震時の上水確保のため受水槽の緊急遮断弁の採用、雨水貯水槽の確保、電源車の寄付きスペースへの配慮など様々な工夫を施すことで、災害に強い施設づくりを行います。